

と き 平成25年 8月2日(金) 午後7時～

ところ 由岐公民館2階 大会議室

入場無料

講 師 神奈川大学 経済学部 さとう こうじ 佐藤 孝治 教授

演 題 東日本大震災の社会経済的な影響
ー南海トラフ巨大地震に備えて三陸沿岸の経験から学ぶことー



佐藤孝治先生は、経済学の立場から阪神淡路大震災(1995年)で災害時の通勤困難者問題を調査するなど、長年「地震防災」を専門テーマの一つに掲げて研究を続けてこられました。

東日本大震災後は、地域社会に及ぼす震災の影響(産業経済活動や市民生活への影響など)を継続的に調査するため、学生達と東北の三陸沿岸部に16回入り、震災直後からの被災地の変化を追いつけています。

今回のご講演では東日本大震災の現状と課題について、社会経済学的な見識からご説明頂き、今後の南海トラフ巨大地震対策の一助とします。



佐藤孝治教授のプロフィール

1949年生まれ、大分県出身。
中央大学法学部ご卒業後、米国のインディアナ大学行政環境大学院で政策科学・地域分析を学

ばれました。ご専門は地域経済論、テレワーク、地震防災・危機管理など。

また佐藤氏は、平成19年度から継続的に美波町を来訪されており、美波町の防災対策に関する論文もご執筆されています。

主催 徳島大学・美波町地域づくりセンター
後援 美波町役場、美波町自主防災会連合会



防災まちづくり講演会